

2022 東北大学前期日程試験【数学】問題分析

1 今年(2022)の傾向

総評・講評(大問毎に)

文系

(原加)
① 文系の受験生は $l=1,2$ のように具体的に数字で考え込むことが多い。

② (絶対値のついた定積分)

頻出の問題で、計算も少なくて易しい。確実に得点したい。

③ (点、図形と式)

点と直線のまわりの公式等をしっかりと覚えて、計算を速くできるように。

④ (空間ベクトル)

小問に従って計算していけば出来る。

(2) で、内積を利用することに気が付けば、(3)にもつながる。

総評

特に難しい問題は出題を減らしたので、高校で学んでいることを覚えておけば合格できる。(しっかりと計算はやり、)

2 合否ライン（予想）※他の教科が合格ラインをとったときの得点（%）予想

【文系】

文学部	50 %	保健／看護	50 %
教育学部	55 %		
法学部	70 %		
経済学部	70 %		

3 来年受験する生徒へのアドバイス

よく出てくるような基本から標準問題が出題されている
標準的な問題をしっかりとこなす。